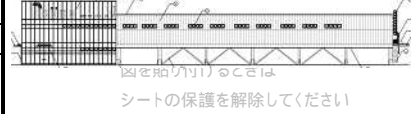


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木インター南部SCプロジェクト	階数	地上2F
建設地	神奈川県厚木市岡田字辻3004番地	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	210 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2012年2月14日
敷地面積	7,294 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	4,153 m <sup>2</sup>	確認日	2012年2月14日
延床面積	8,069 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 67%

上記+ 以外のオンサイト手法: 67%

上記+ オフサイト手法: 67%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 緑化(屋上緑化)配慮建築物。 敷地面積の17%の緑化を実施(屋上緑化含)、緑を取り入れた景観を大切に計画。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 用途別や熱負荷別に複数にゾーニングがなされており、さらにゾーン別に冷房・暖房の選択が可能な空調システムが計画されている。	<b>Q2 サービス性能</b> トイレの壁にメラミン化粧板、床にセラミックタイルを採用し、汚れに対し配慮している。水切りを設け、外装はアクリル系の吹き付けタイルを採用し、外装の汚れに対しても配慮している。また風除室を設けず、極力段差のない設計をしている。トイレに掃除用流しを設置、事務室に洗濯機置き場を設置、廃棄物置き場を設けるなど、清掃に対しても配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 日照条件に配慮し、また、季節を感じられるようサツキツツジ(陽樹)を植樹している。視線を遮らないよう低木のみとし、防犯性にも配慮をしている。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁、屋根、外床の断熱材を強化し、熱線反射ガラスを採用するなどの配慮をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 非構造材にリサイクル材を採用している。躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。発泡剤を用いた断熱材を使用していないなどの配慮をしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物利用者のための十分な自転車置場(バイク置場を含む)を確保し、また、店舗入口付近に設けるなど、駐輪場利用者の利便性に配慮している。十分な量の駐車スペースを確保し、入口と出口を分け、交差点から離れた位置に設けるなどの配慮をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし